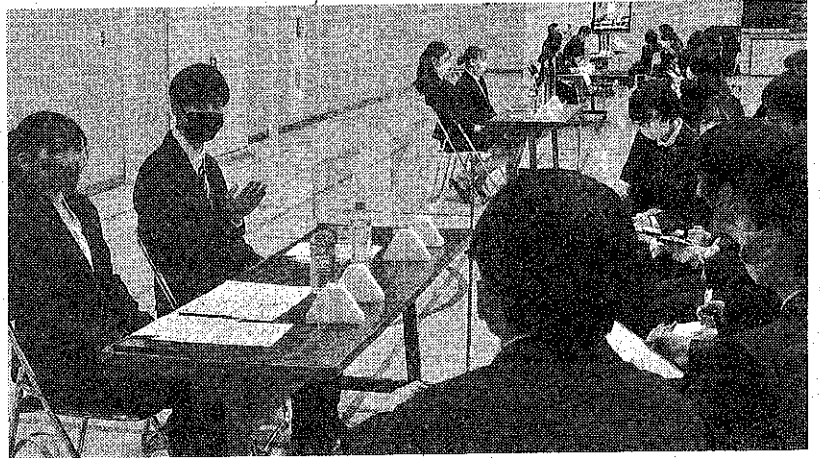


先輩から就活や受験学ぶ

白糠高 今春卒業の3年生と座談会



先輩の質問に答える3年生

組んだ方がいい」とアドバイスしていた。

介護士を志望する村上瑠華さん（2年）は「検定を多く取得するなど今やつておくべきことや、社会人としてすべきことが分かって良かった」と話していた。

（水谷友路）

【白糠】白糠高校（田村信明校長）の進路指導部は11日、今春卒業した3年生らを招いた進路座談会を開いた。「産業社会と人間」の授業の一環で、1、2年生39人が先輩から就活や受験に向けた取り組み、仕事内容などについて学んだ。

この日は3年生10人と釧路総合振興局森林室音別事務所の職員が協力。7カ所のブースのうち、生徒が3カ所を30分ごとに回る形式で行った。このうち、道内自動車販売会社の整備士に内定している河原宇斗さんは「ゲームの次に車が好きで、就職を機にもっと車を知りたいと思い、この仕事を選んだ」と述べた。

就活の苦労については「履歴書を書くことが多い上に、記入を間違えたら一からやり直しになる。アルバイトや部活が落ち着くのを待たずに、締め切りに間に合うように最優先で取り